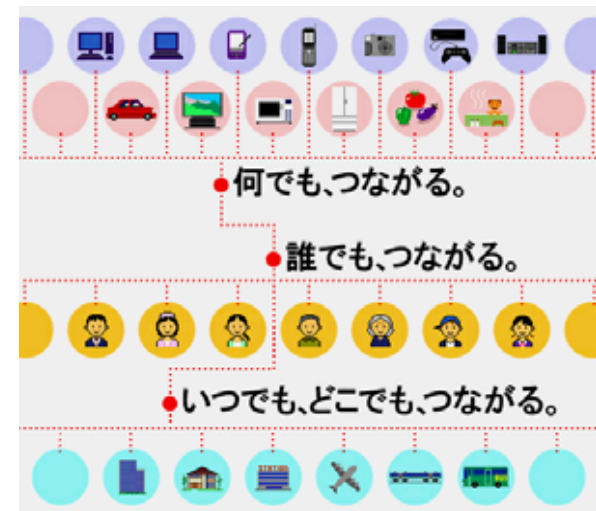


u-Japan 政策懇談会 基本政策WG

- 生活者アンケート結果の概要 -

2004年4月13日

株式会社 野村総合研究所



1. 生活者アンケートの概要

(1) 目的

- 生活者視点で、Uネット社会で解決して欲しい課題の順位付け
= 『2010年に向けた重要課題のうち、ユビキタスネットワーク社会により解決することに期待する課題』

(2) 設計の基本方針

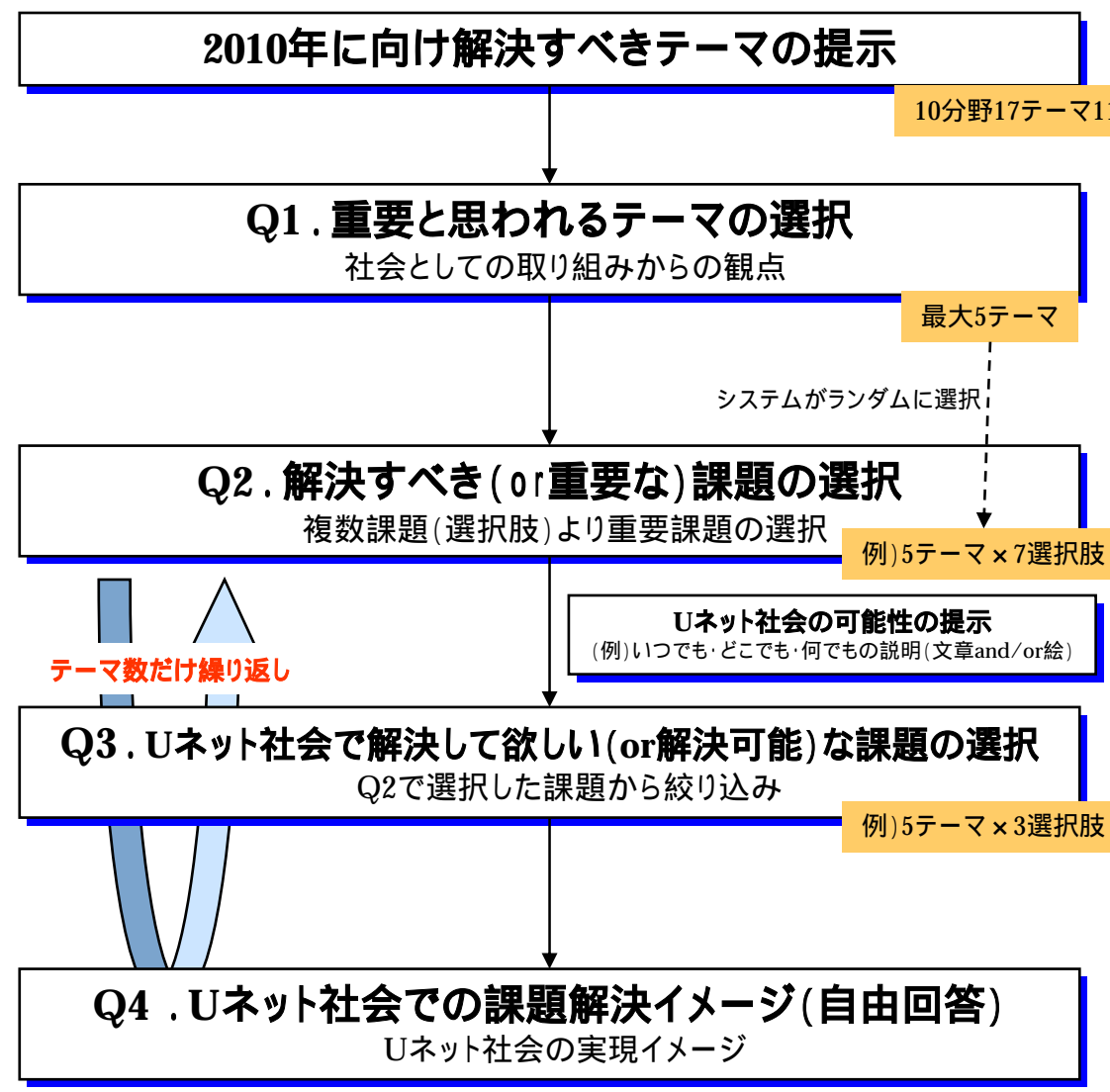
- 目標時間軸は2010年
- 生活者の根本ニーズにこだわる
 - 対極 ユビキタスネットワーク社会のソリューション(例:高画質な映像を用いたコミュニケーションシステム)に対する利用意向を聞くのは容易(安易)
- 根本ニーズにこだわるが、ユビキタスネットワーク社会ならではの解決課題も把握する
- 回答者のスタンスは、「個人として」(個人限定の問題意識)ではなく、「社会として」の意識で回答してもらう

(3) 実施概要

- アンケート会社の持つサンプル集団に対し、インターネットを利用したウェブアンケートを実施
- サンプルングの方針:
 - 15歳以上の男女を対象
 - 男女比及び年齢層のバランスは日本の人口動態を反映するように設定
 - : 15～59歳は平成15年3月時点の人口を元に割り付け
 - : 60歳以上は元々の母集団が少ないため、集計数に重み付けをして分析
 - 地域 :一都三県&二府一県:その他地域 = 65:35 となるように設定
- 目標回収数 5,000サンプル(性・年齢(5歳刻み)の最小セルで200サンプルを回収目標に設定)

1. 生活者アンケートの概要

(4) 基本構成



• テーマを説明する (回答者への動機付けのために必要)

• 課題にはIT色は出さない
• 社会として解決すべき (NOT個人)

• Q2で選択した課題に対し、Uネット社会 (U技術) ならではの課題、Uだから解決可能な課題を絞り込

• 回答者は一定の情報リテラシを持つ人 ITを利活用した課題解決イメージを記述してもらう

F. フェースシート
性
年齢
地域
情報リテラシー
テーマに関する属性
(例: 要介護老人との同居等)
その他 (年収、職業等)

1. 生活者アンケートの概要

(5) 対象とするテーマと課題

- 10の分野で24のテーマを設定した。このうち、17の解決すべきテーマを対象に生活者向けアンケートを実施した
- 対象とする分野やテーマ、個別の具体的課題は、国や地方自治体の既存施策・計画等を参考に整理した
- 今回のアンケートで設定しなかったテーマは有識者を対象に調査実施予定

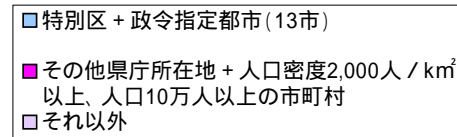
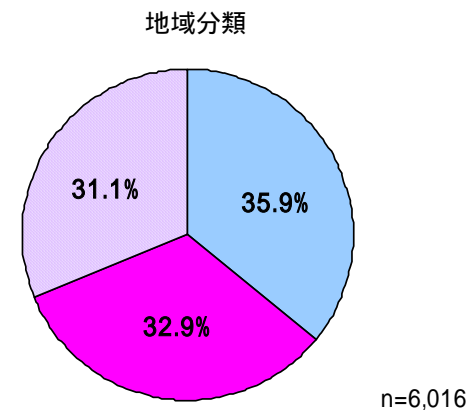
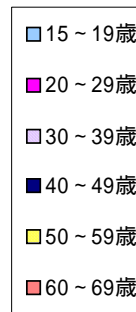
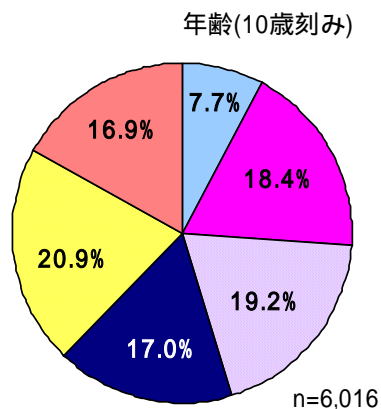
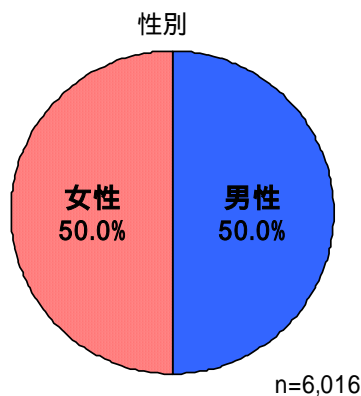
分野	テーマ	課題
1. 国民生活分野	1-1 多様なコミュニティ活動の実現	テーマごとの個別具体的な課題
	1-2 安全・安心な生活環境の実現	
	1-3 文化・芸術、スポーツ活動を活かした豊かな国づくり	
	1-4 高齢者・障害者の生きがいづくり・社会参加の促進	
2. 医療福祉分野	2-1 患者中心の医療サービスの充実	
	2-2 医療機関や介護施設の経営効率と利用サービスの向上	
3. 交通物流分野	3-1 持続可能、安全な都市交通システムの形成	
	3-2 物流システムの効率化	
4. 環境・エネルギー分野	4-1 循環型社会・環境共生型社会の構築	
	4-2 エネルギー問題の解決	
5. 教育・人材育成分野	5-1 青少年の健全な育成	
	5-2 大学及び大学院等の高度化	
	5-3 生涯学習の普及	
6. 就労・労務分野	6-1 就業形態や勤務形態の多様化	
	6-2 就職機会の拡大と多様化	
	6-3 ホワイトカラーの生産性向上	
7. 危機管理分野	7-1 ネット社会のリスク管理	
	7-2 国土安全保障問題への対応	
8. 経済・産業分野	8-1 既存産業の高度化	
	8-2 新たな産業の育成	
	8-3 国際競争力の強化	
9. 行政サービス分野	9-1 地方の自立・活性化	
	9-2 電子政府の実現と行政改革	
10. 国際分野	10-1 国際化の推進	

■部分は有識者向けとして、今回のアンケートでは設定しなかった設問

2 . アンケート結果の概要

(1) 回答者の属性

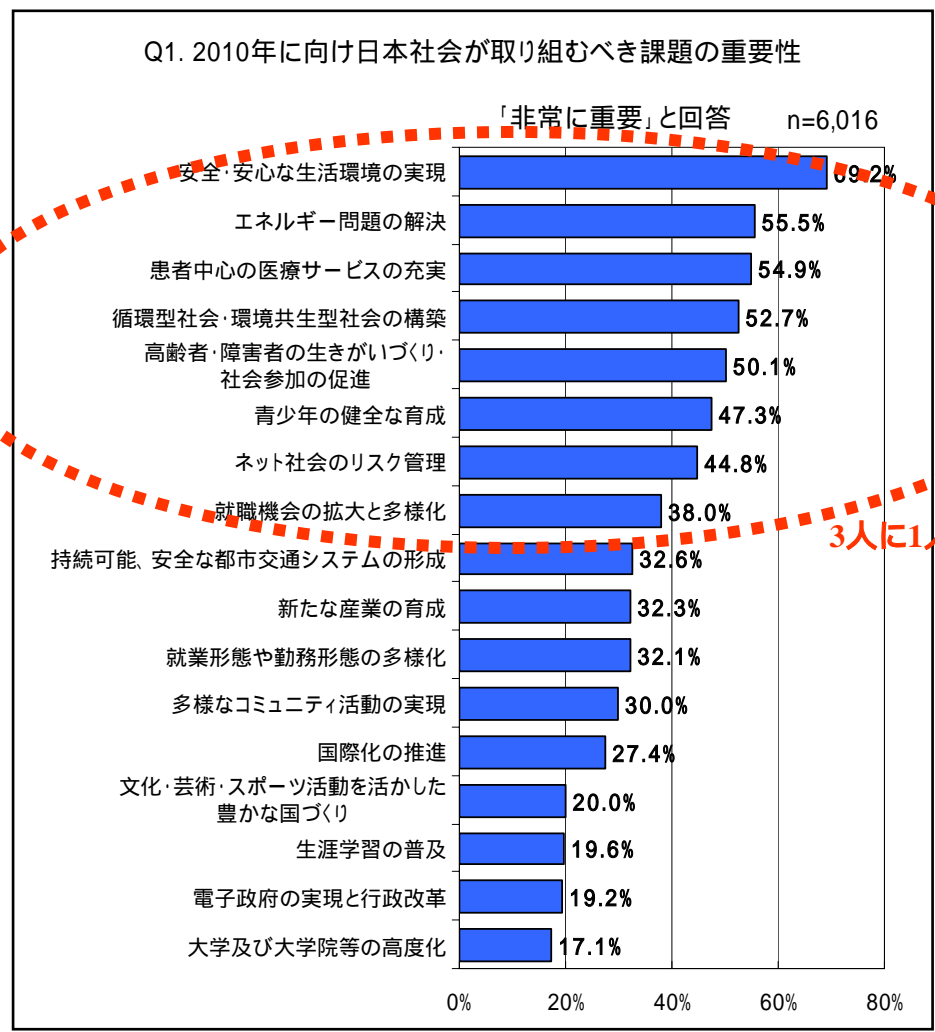
- サンプル方針に則り、ほぼ日本の人口構成に近い男女比、年齢構成となるよう、60歳以上の階層で重み付けを実施。重み付け後の有効回答数は6,016件
- 分類後の割合が概ね同様となるよう、「都市部」:東京都特別区(23区) + 政令指定都市(13市)、「都市周辺部」:その他県庁所在地 + 市町村(人口密度2,000人 / km²以上、人口10万人以上)、「それ以外」:それ以外の市町村で地域を分類



2. アンケート結果の概要

(2) 2010年に向け日本社会が取り組むべき課題

- 取り組むべき最も重要な課題は、「安全・安心な生活環境の実現」(69.2%)
- 次いで、「エネルギー問題の解決」、「患者中心の医療サービスの充実」、「循環型社会・環境共生型社会の構築」、「高齢者・障害者の生きがい作り・社会参加の促進」、「青少年の健全な育成」、「ネット社会のリスク管理」、「就職機会の拡大と多様化」と続く(これらは回答者の3割以上が「非常に重要」と回答)
- 分野としては「国民生活分野」「医療福祉分野」「環境・エネルギー分野」であり、比較的身近な生活環境の課題を重要視する傾向が見られる。
- 以降、右記8つの解決すべきテーマにおける個別課題の重要度合い、及びユビキタスネットワーク社会による解決への期待度合いについて整理する。

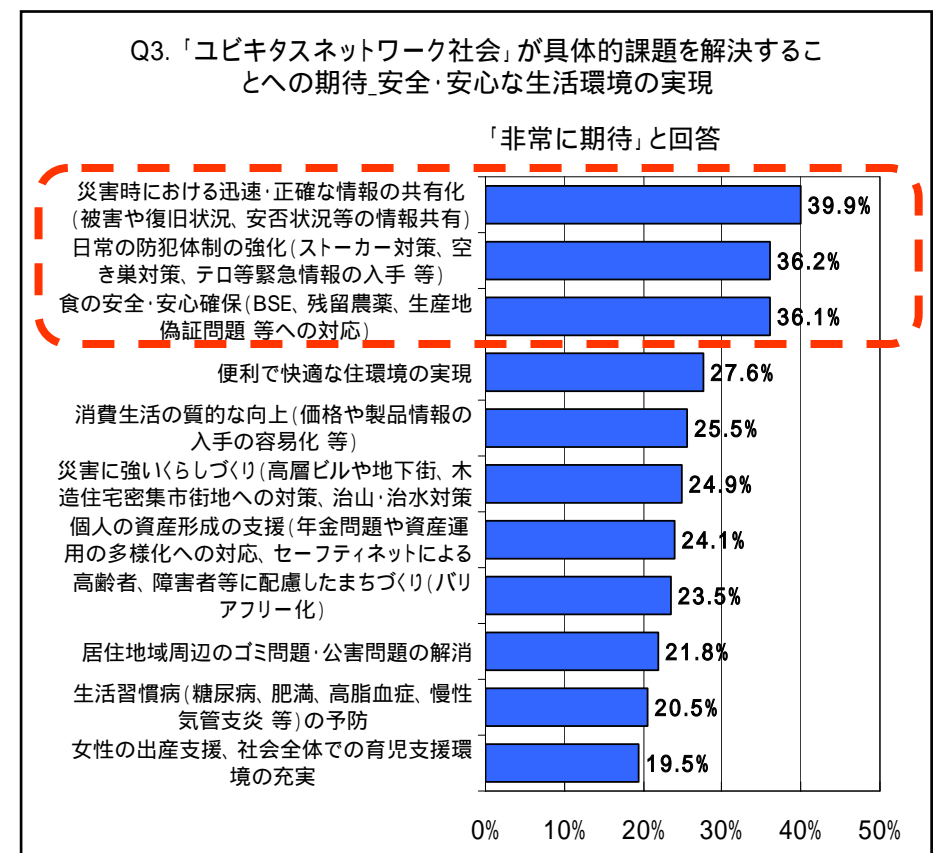
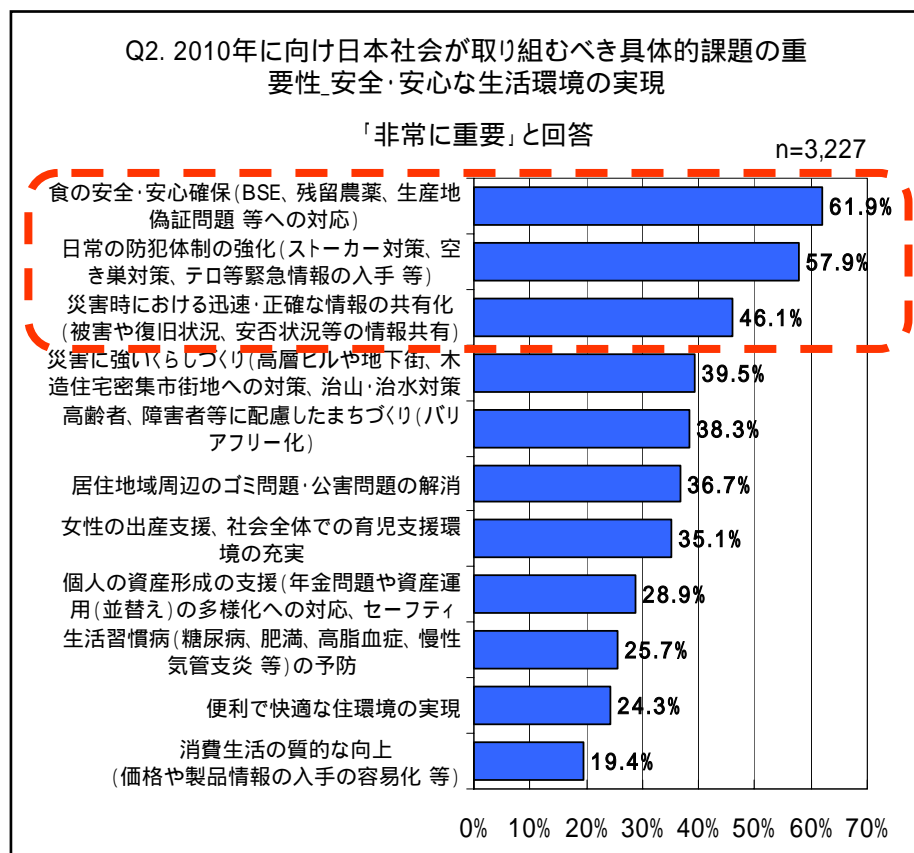
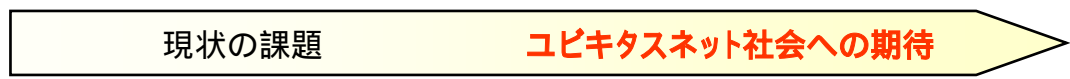


2. アンケート結果の概要

(3) 解決すべきテーマ別にみた具体的課題の重要性とユビキタスネット社会への期待

テーマ：「安全・安心な生活環境の実現」

- 現状の課題は「**食の安全・安心確保**」「**日常の防犯体制の強化**」「**災害時における迅速・正確な情報の共有化**」であり、ユビキタスネット社会への期待も高い
- 「**便利で快適な住環境の実現**」や「**消費生活の質的な向上**」は現状の課題としての認識は低い、ユビキタスネット社会への期待は高い



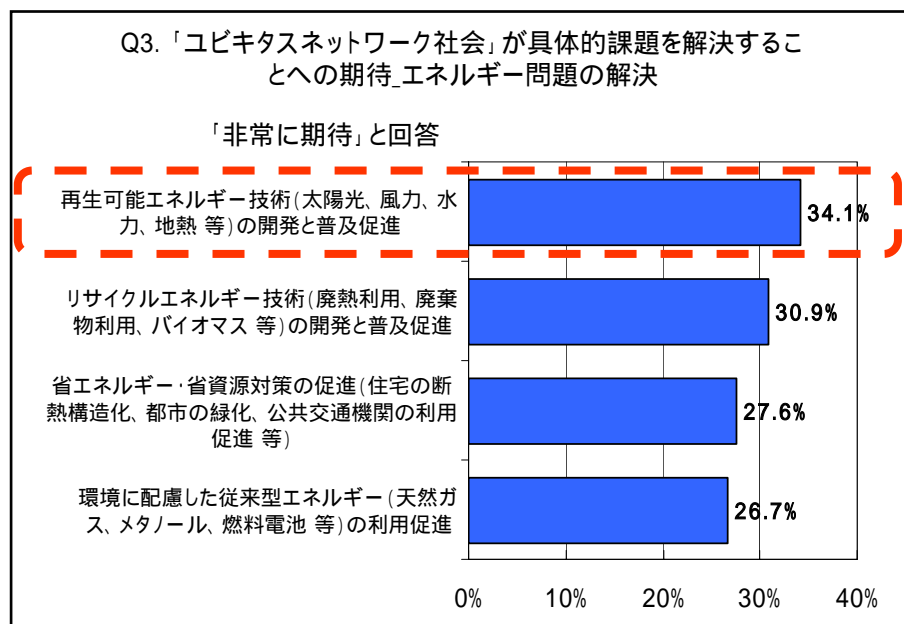
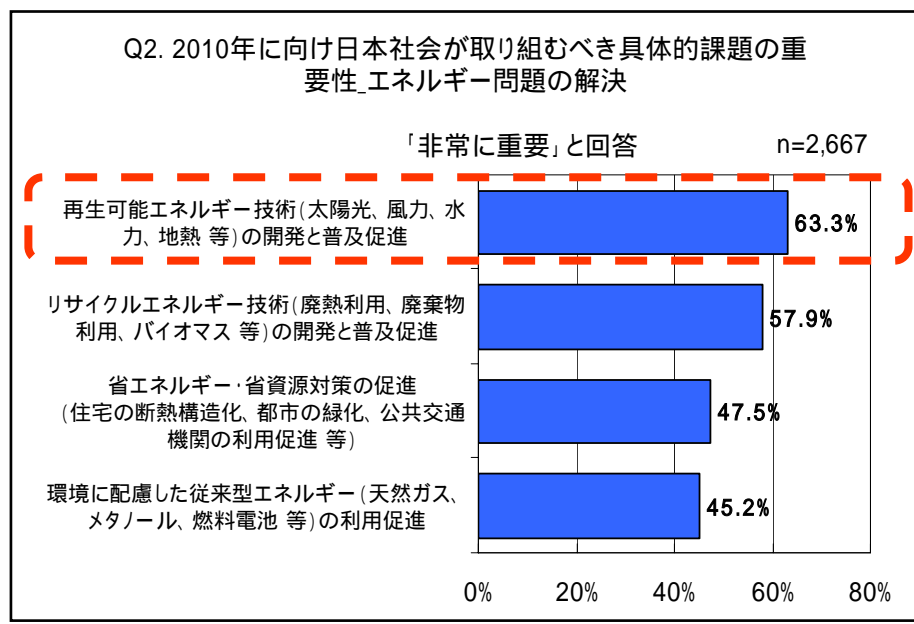
2. アンケート結果の概要

テーマ：「エネルギー問題の解決」

- 「再生可能エネルギー技術の開発と普及促進」は現状の課題として最も注目され、またユビキタスネット社会に最も期待される課題でもある

現状の課題

ユビキタスネット社会への期待



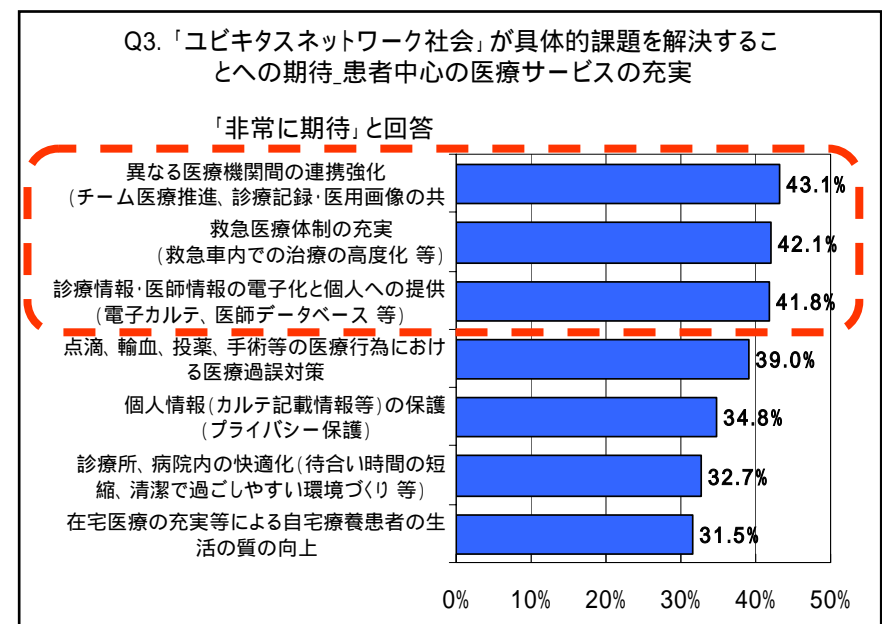
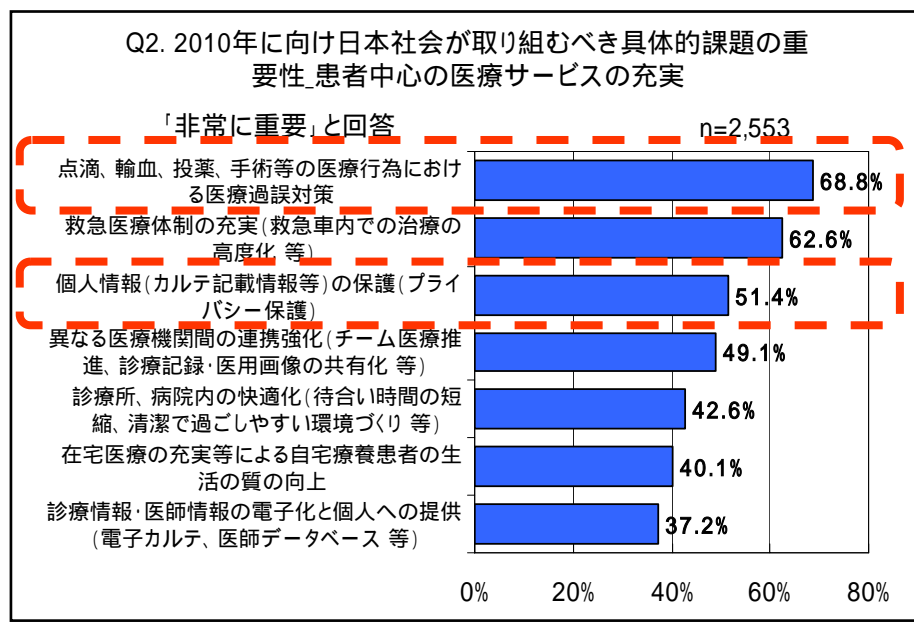
2. アンケート結果の概要

テーマ：「患者中心の医療サービスの充実」

- 現状の課題としては「医療行為における医療過誤対策」「個人情報の保護」といったトラブル対策が注目される
- ユビキタスネット社会に期待されるのは「異なる医療機関間の連携強化」「救急医療体制の充実」「診療情報・医師情報の電子化と個人への提供」といった、**より優れた医療行為を受けるための仕組みづくり**である

現状の課題

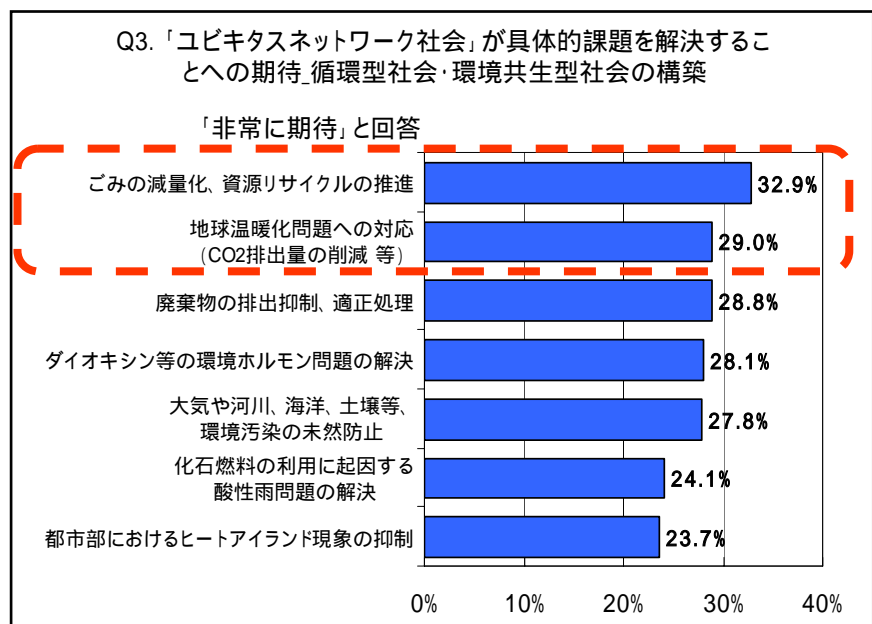
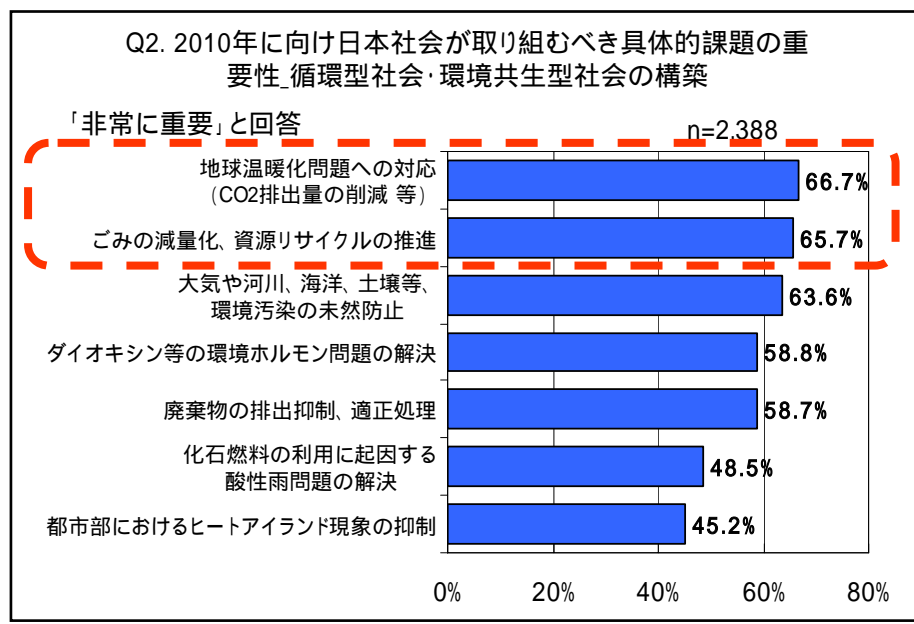
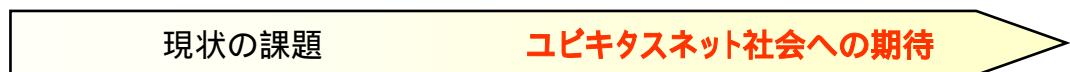
ユビキタスネット社会への期待



2. アンケート結果の概要

テーマ：「循環型社会・環境共生型社会の構築」

- 「地球温暖化問題への対応」「ごみの減量化、資源リサイクルの推進」は現状の課題として注目されており、またユビキタスネット社会への期待も高い



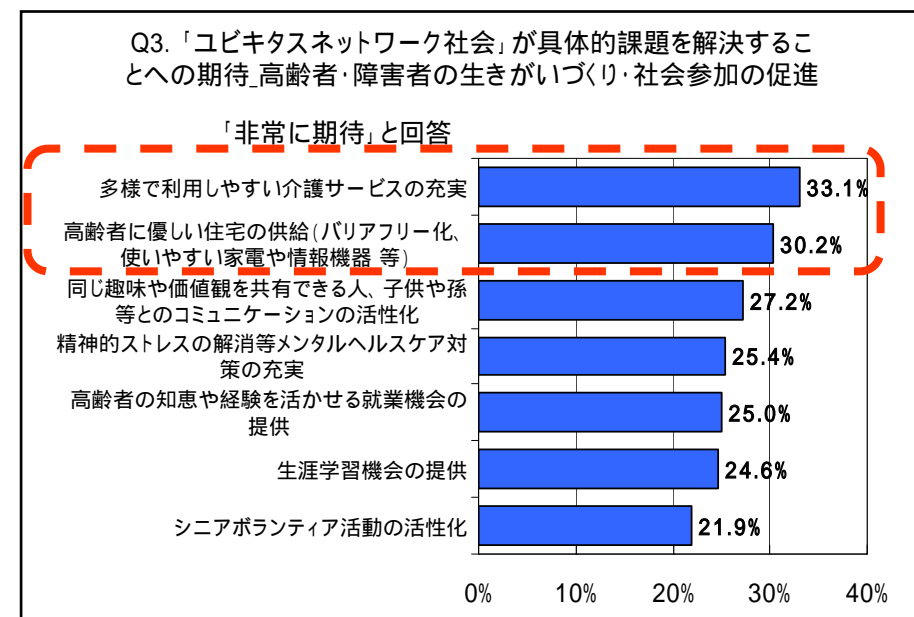
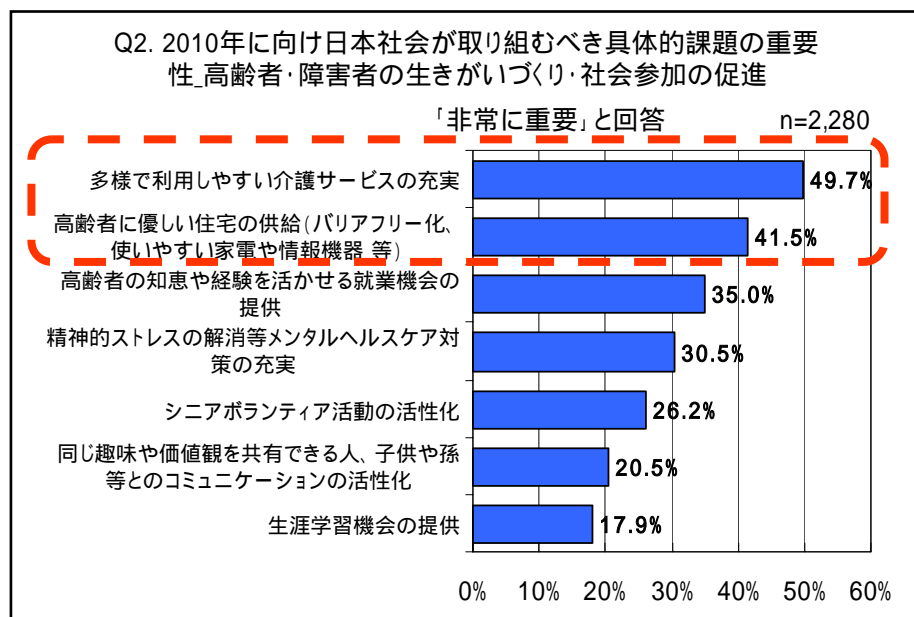
2. アンケート結果の概要

テーマ：「高齢者・障害者の生きがいづくり・社会参加の促進」

- 「多様で利用しやすい介護サービスの充実」「高齢者に優しい住宅の供給」は現状の課題として注目されており、またユビキタスネット社会への期待も高い
- 趣味やボランティア、就業機会創出よりも、まずは生活するための環境重視の傾向が見られる。

現状の課題

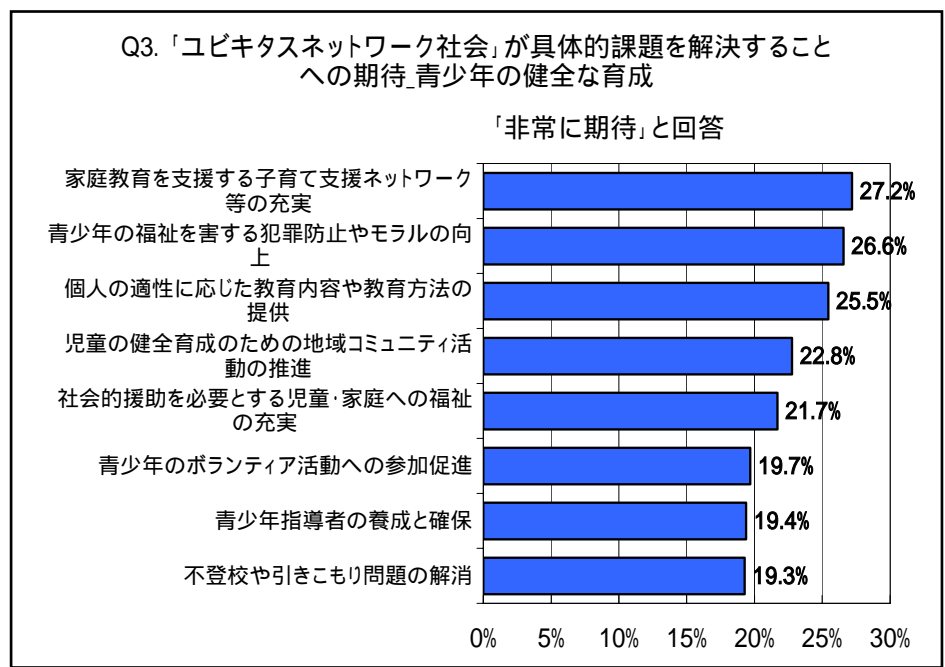
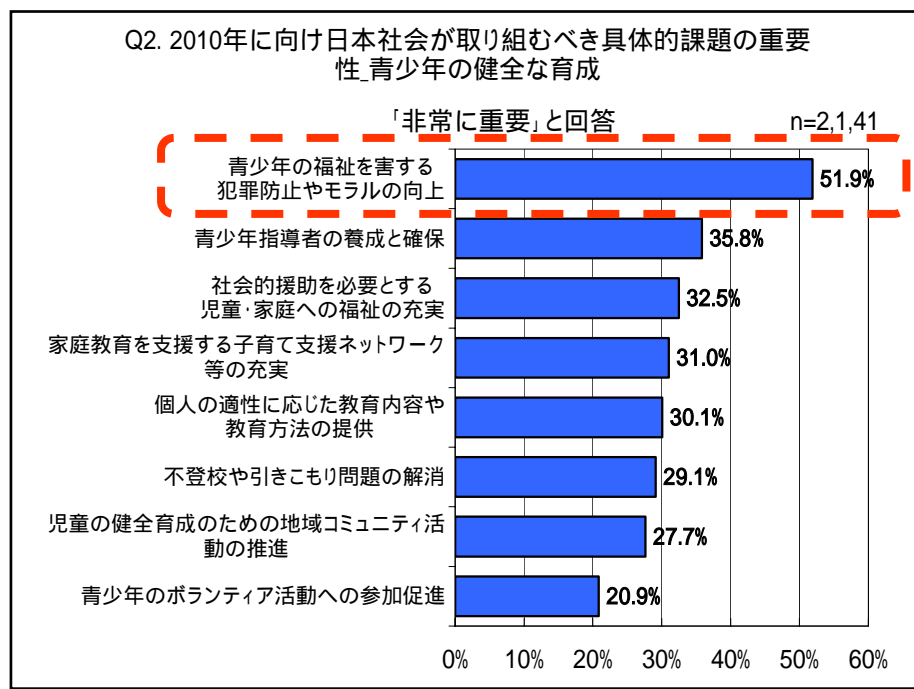
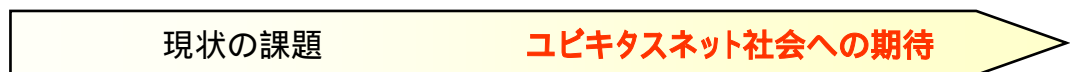
ユビキタスネット社会への期待



2. アンケート結果の概要

テーマ：「青少年の健全な育成」

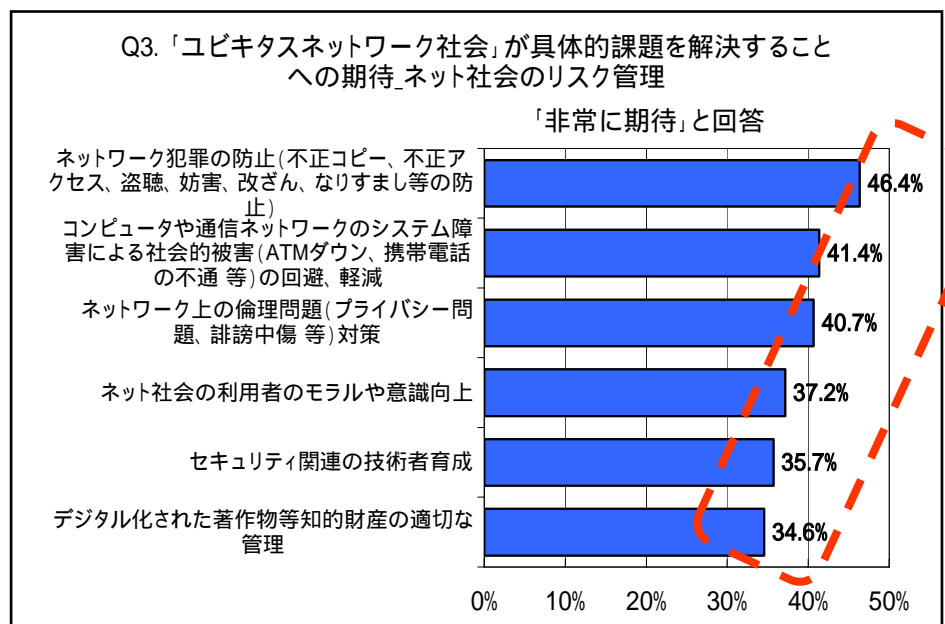
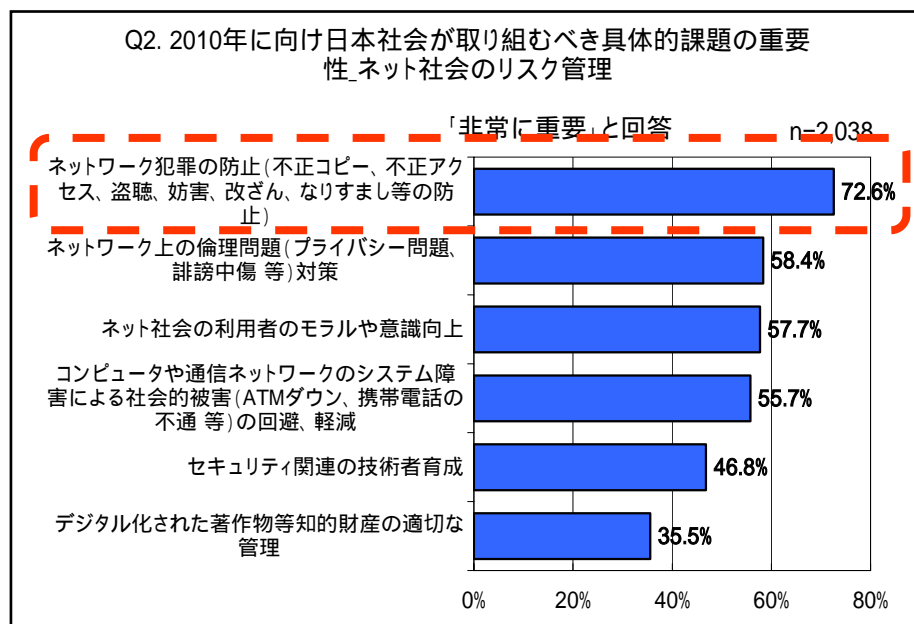
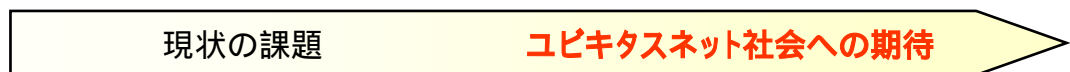
- 「青少年の福祉を害する犯罪防止やモラルの向上」は現状の課題として重要度が高い
- ユビキタスネット社会への期待が3割を越える重点課題は見当たらない



2. アンケート結果の概要

テーマ：「ネット社会のリスク管理」

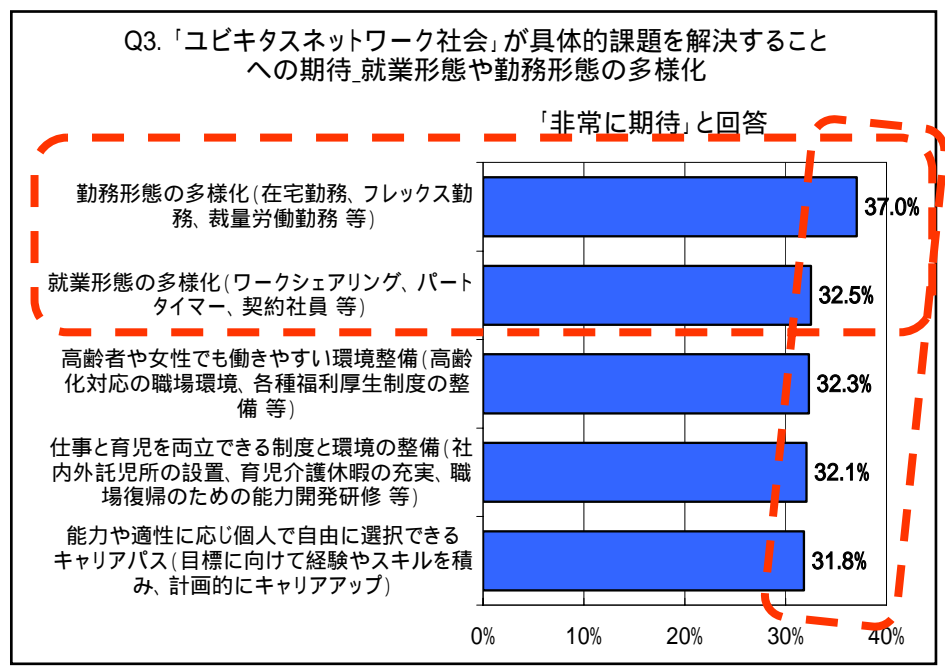
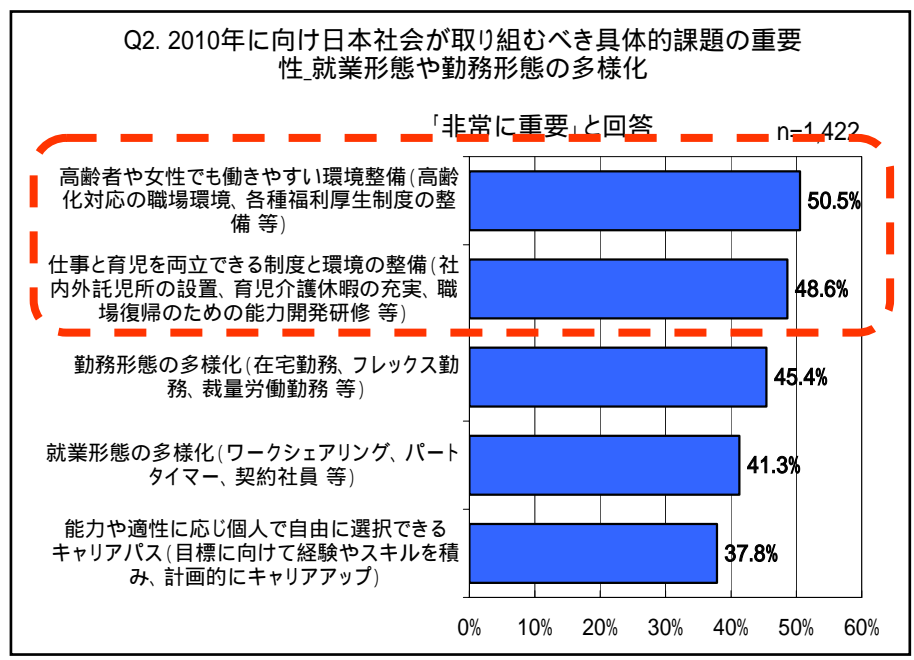
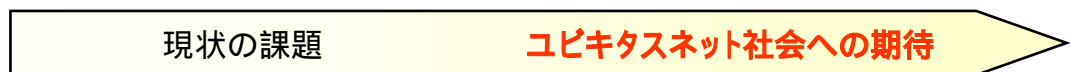
- 現状の課題として「**ネットワーク犯罪の防止**」は非常に高く注目(72.6%)されている
- ユビキタスネット社会への期待も高く、**全ての重点課題で3割以上が「非常に期待」と回答している**



2. アンケート結果の概要

テーマ：「就業形態や勤務形態の多様化」

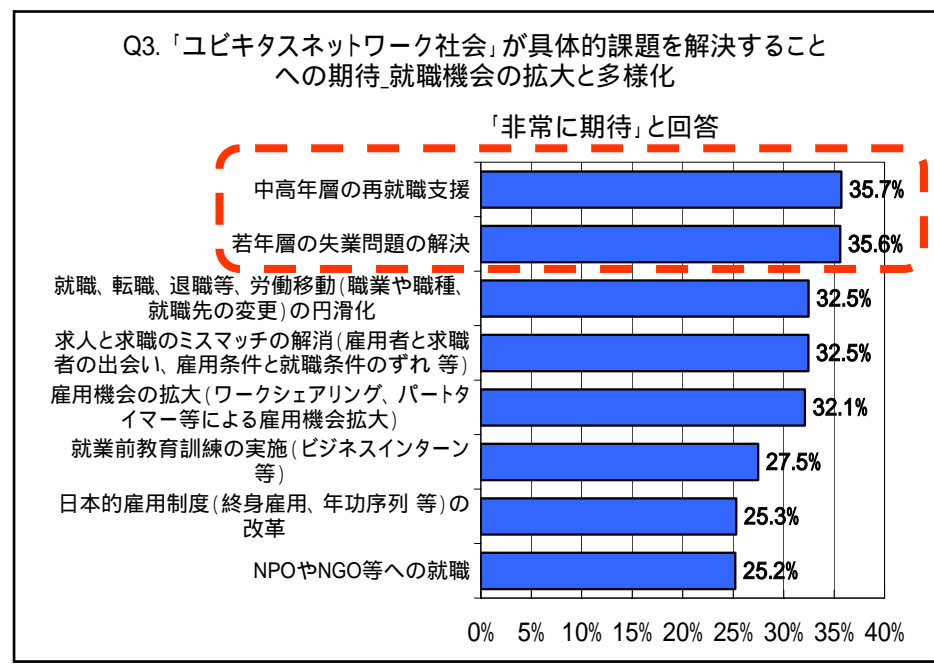
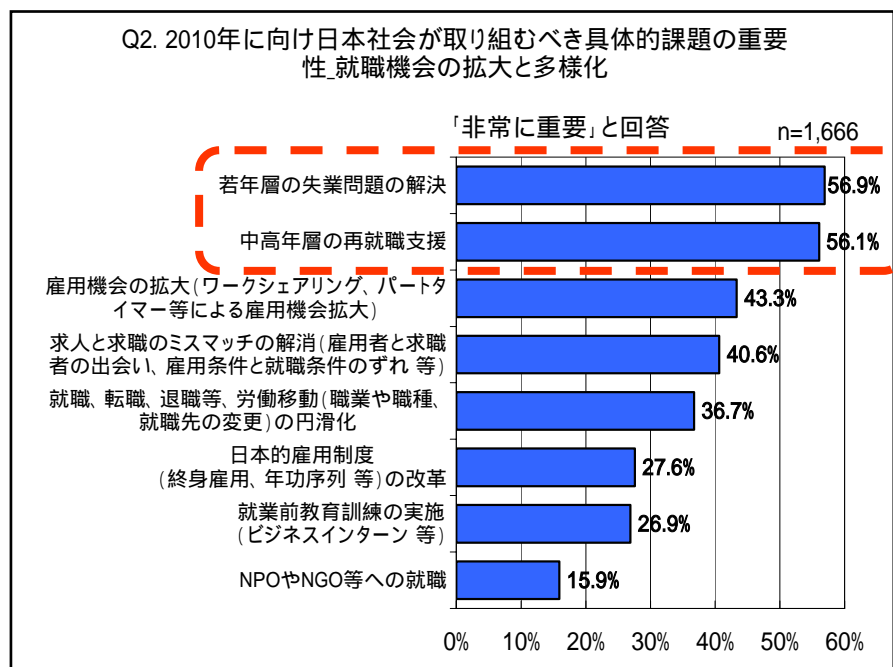
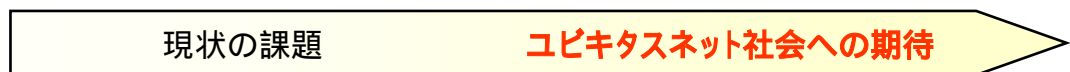
- 現状の課題としては「**高齢者や女性でも働きやすい環境整備**」「**仕事と育児を両立できる制度と環境の整備**」といった**職場環境の整備が注目**されている
- しかし、ユビキタスネット社会に期待されるのは「**勤務形態の多様化**」「**就業形態の多様化**」といった**形態面の変化**であり、さらに**全ての重点課題で3割以上が「非常に期待」と回答**している



2. アンケート結果の概要

テーマ：「就職機会の拡大と多様化」

- 「若年層の失業問題の解決」「中高年層の再就職支援」は現状の課題として注目されており、またユビキタスネット社会への期待も高い



2. アンケート結果の概要

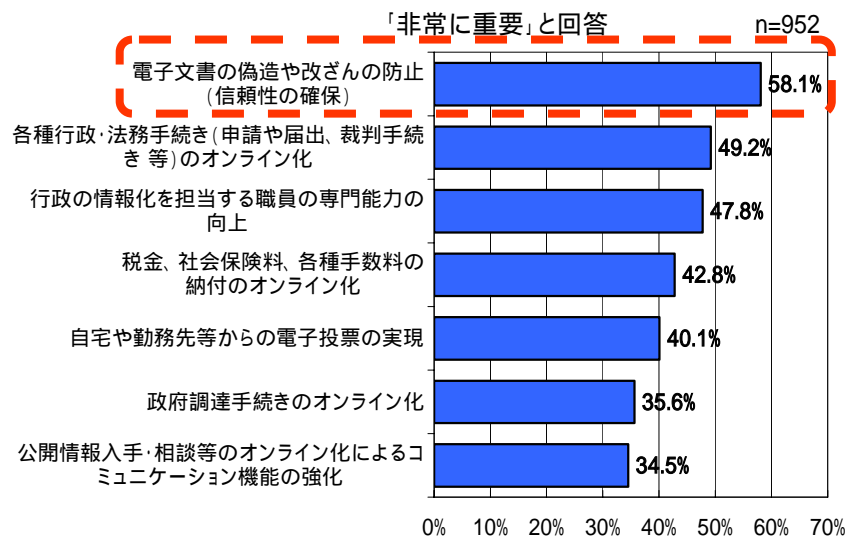
テーマ：「電子政府の実現と行政改革」

- テーマ別にみた場合、「電子政府の実現と行政改革」を重要とする割合は低い(19.2%)が、ユビキタスネット社会への期待は全般的に高く、**全ての重点課題で3割以上が「非常に期待」と回答している**
- 現状の課題としては「**電子文書の偽造や改ざんの防止**」が注目される。

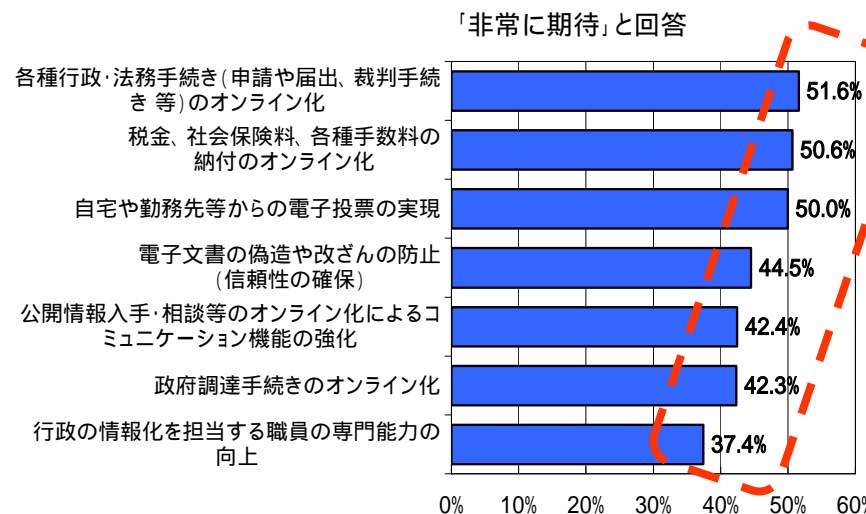
現状の課題

ユビキタスネット社会への期待

Q2. 2010年に向け日本社会が取り組むべき具体的課題の重要性_電子政府の実現と行政改革



Q3. 「ユビキタスネットワーク社会」が具体的課題を解決することへの期待_電子政府の実現と行政改革

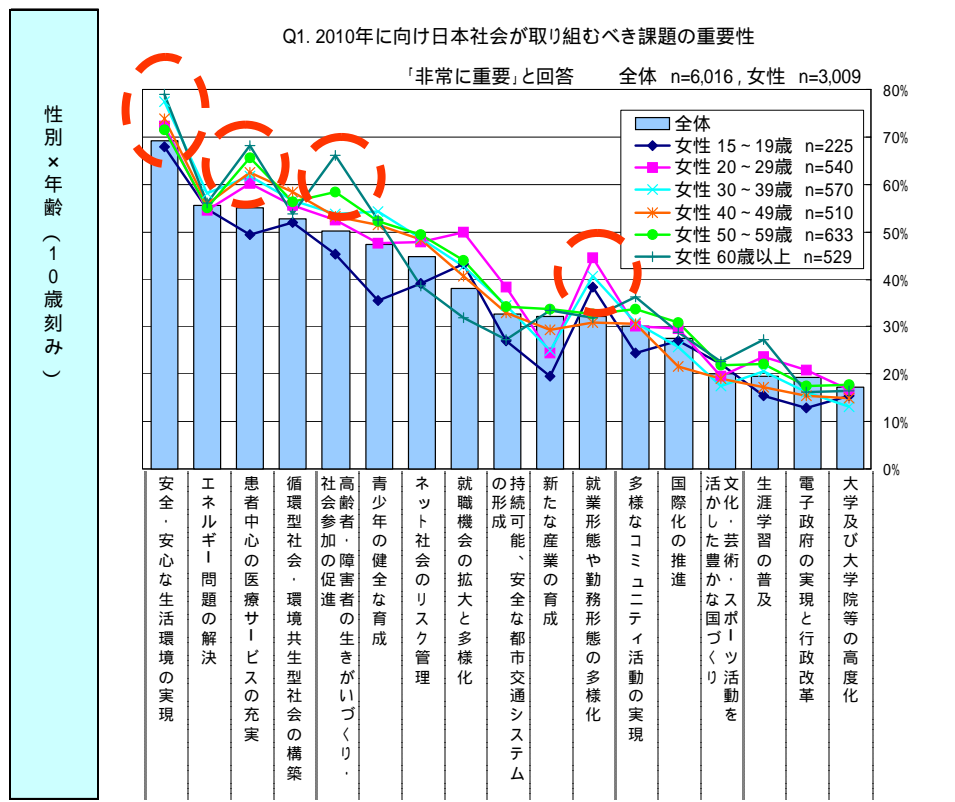
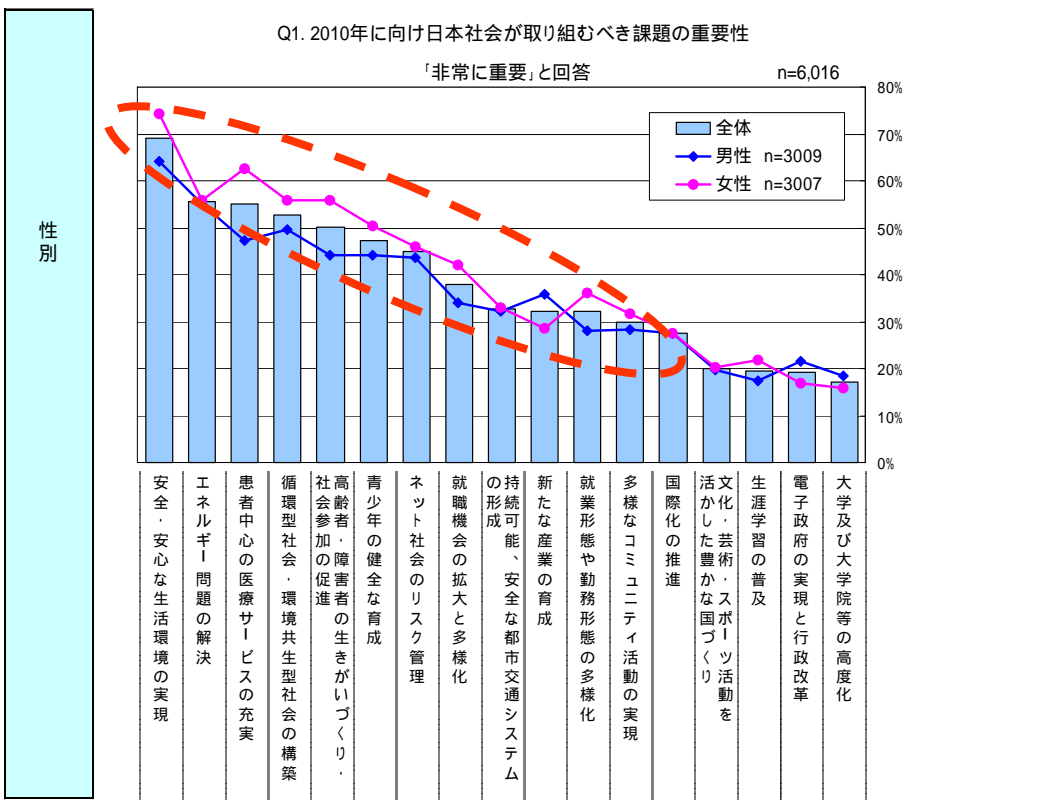


2. アンケート結果の概要

(4) 回答者の属性とのクロス集計からみた特徴

- 全般的に男性よりも女性のほうが各テーマに対する問題意識が高い

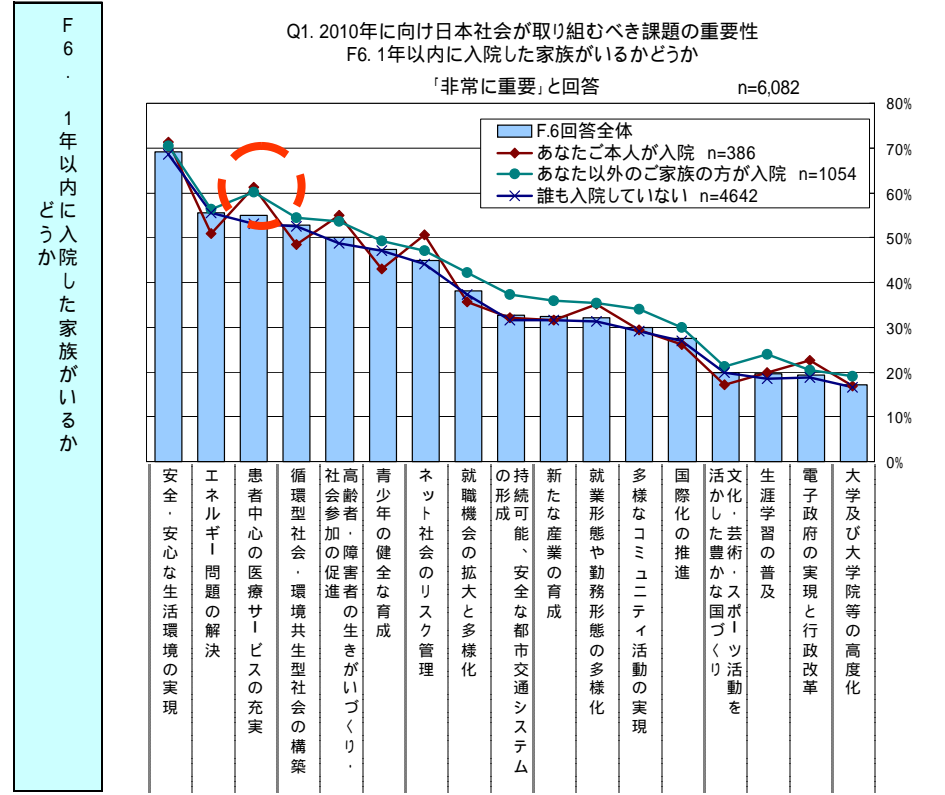
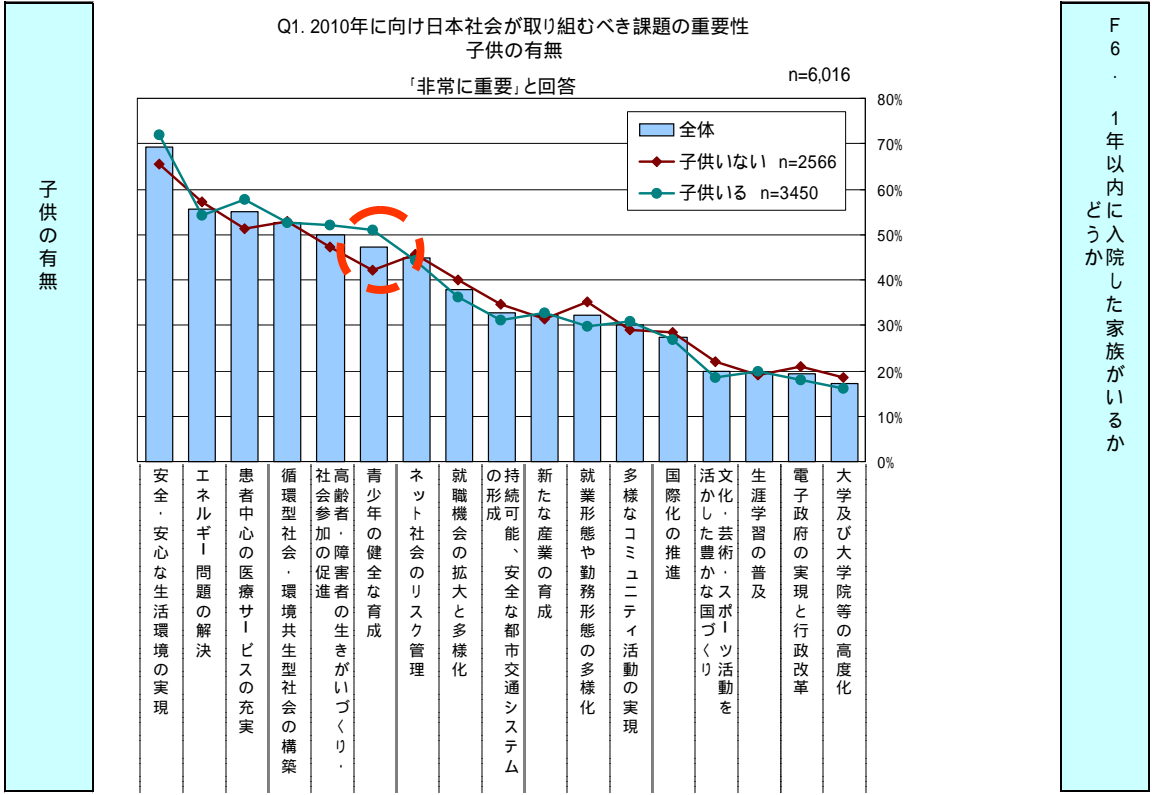
- 60歳以上の回答者層は「安全安心な生活環境の実現」「患者中心の医療サービスの充実」「高齢者・障害者の生きがいづくり・社会参加の促進」で全体より問題意識が高い
 - 「就業形態や勤務形態の多様化」は20歳台の回答者で問題意識が高い
- (双方とも特に女性に顕著)



2. アンケート結果の概要

■ 子供がいる回答者は「青少年の健全な育成」に対する問題意識が高い

■ 1年以内に入院した家族のいる回答者(本人含む)は「患者中心の医療サービスの充実」に対する問題意識が高い

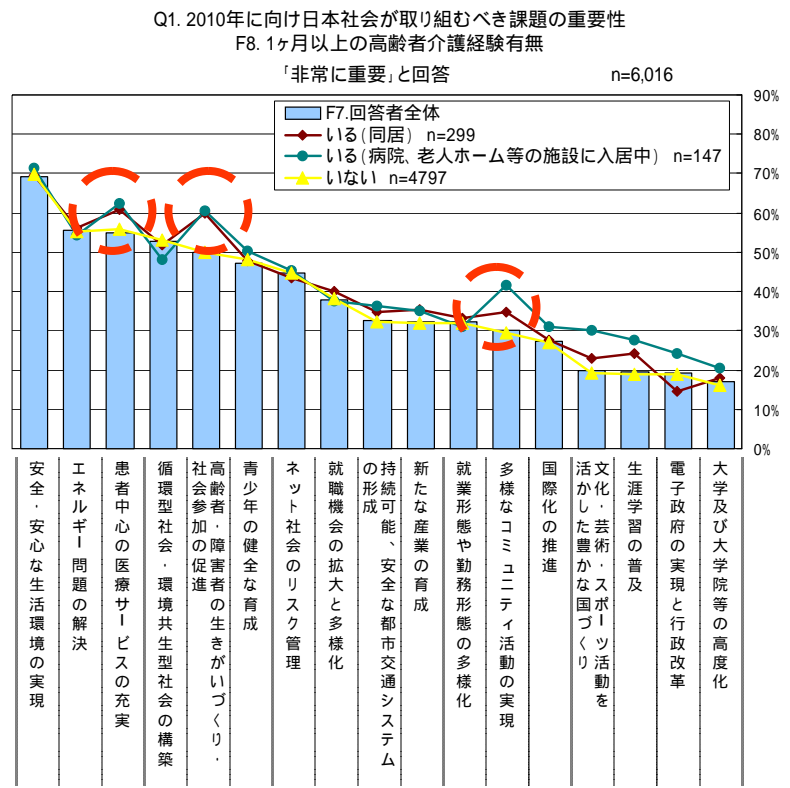


2. アンケート結果の概要

■ 同居家族に介護が必要な高齢者がいる回答者は「患者中心の医療サービスの充実」「高齢者・障害者の生きがいづくり・社会参加の促進」「多様なコミュニティ活動の実現」に対する問題意識が高い

■ 高齢者の介護経験がある回答者は「患者中心の医療サービスの充実」「高齢者・障害者の生きがいづくり・社会参加の促進」「多様なコミュニティ活動の実現」に対する問題意識が高い

F7
同居家族に介護が必要な高齢者がいるかどうか



F8
1ヶ月以上の高齢者介護経験有無

